

全国救護施設協議会平成 28 年熊本地震の支援活動について（経過）

4月 14 日(木)熊本地震“前震”発生

4月 15 日(金)

○全救協より被害状況について九州地区救護施設協議会に照会

⇒【真和館(阿蘇郡西原村)】

- ・建物内に一部ひび割れ、外壁タイルにも一部亀裂
- ・利用者居室内のテレビ等が何台か落下
- ・敷地内に線のような地割れが複数ある
- ・益城町の病院(精神科)に入院していた利用者 3 名が病院の損壊がひどいため、職員が迎えに行った

【熊本県内、大分県その他施設について】

- ・物品の散乱等はあるものの重大な被害なし

4月 16 日(土)熊本地震“本震”発生

○全救協より被害状況について九州地区救護施設協議会に照会

⇒【真和館(阿蘇郡西原村)】

- ・利用者全員 53 名で、西原村立今西小学校に避難
- ・避難所には職員が交代制で3名常駐
- ・不穏度が高まった利用者2名を国立の精神科病院へ搬送
- ・施設から3食握り飯を届けている
- ・ライフラインに一部被害あり(電話不通、2F部分の電気系統の故障、井戸水使用不可)
- ・施設内の備品が倒れるなどの物的被害あり

【友愛会银杏寮(熊本市西区)】

- ・断水による水不足
- ・施設職員、利用者等の人的被害なし
- ・建物に亀裂、備品が倒れるなどの物的被害あり

【熊本県内、大分県その他施設について】

- ・物品の散乱等はあるものの重大な被害の報告なし

4月 18 日(月)

○全救協より被害状況について九州地区救護施設協議会に照会

⇒【真和館(阿蘇郡西原村)】

- ・避難所より施設に戻る
- ・2F居室電気系統故障のため使用不可

- 全救協より全国の会員施設へ「熊本地震の被害状況の報告、及び今後の支援の協力依頼」を発信
- 九州地区内救護施設より、被災施設へ物資の支援を開始

4月 19 日(火)

- 全救協大西会長が熊本入(20日まで)現地の被害状況確認、支援の方法について被災施設と調整

4月 20 日(水)

- 全救協より会員施設へ「支援物資の協力依頼」を発信
⇒段階的な支援として、近隣の近畿地区、中国四国地区に依頼
- 熊本県救護施設協議会会員施設より、復旧支援のため職員が被災施設入

4月 21 日(木)

- 支援物資送付先が配送エリア外に変更になったため、支援物資の送付先変更を会員施設へ発信
- 近畿地区、中国四国地区より支援物資の送付を開始

4月 22 日(金)

- 佐賀県会員施設より復旧支援のため職員が被災施設入

4月 25 日(月)

- 全救協より被害状況について九州地区救護施設協議会に照会
⇒【真和館(阿蘇郡西原村)】
 - ・施設内の被害状況について建築業者等の調査開始【友愛会银杏寮(熊本市西区)】
 - ・ライフラインが復旧

4月 27 日(水)

- 平成 28 年度全国救護施設協議会総会において、真和館藤本理事長(本会副会長・九州地区会長)より被害施設への支援のお礼と被害状況を報告した

5月 6日(金)

- 現地の物流の回復と被災施設の物資が安定してきたため、支援物資の一旦停止を会員施設に発信

7月 13 日(水)

○熊本県、大分県の計9施設に対し、災害見舞金の申請についてのご案内と併せ、被災状況確認調査票を送付

9月 29 日(木)

○被災状況確認票をもとに、【真和館(阿蘇郡西原村)】に対し災害見舞金をお送りした